さがえ市議会だより

Letter

令和８年（2026）
11/05
No.171



特集

鳥獣被害を防ぎ、地域の安全を守る

寒河江市鳥獣被害対策実施隊

Topics

令和８年９月定例会（令和７年度決算）

各委員会の行政視察報告

特集

寒河江市鳥獣被害対策実施隊

～鳥獣被害の現場から、地域の安全を守る狩猟者たちの思い～

近年、全国各地で熊やイノシシなどの野生鳥獣が人里に出没するニュースを目にする機会が増えており、私たちにとって身近な問題となっています。本市でも、鳥獣が出没した際の対応や農作物への被害防止などに取り組んでいます。その現場を担っているのが、寒河江市鳥獣被害対策実施隊の皆さんです。今回は、現場で活動する皆さんにお話を伺いました。

■鳥獣被害対策実施隊の活動についてお伺いします。

寒河江市鳥獣被害対策実施隊は、山形県猟友会西村山支部寒河江分会が中心となり、鳥獣の捕獲や見回りなどによる、農作物・生活環境への被害防止活動を行っています。寒河江分会にはおよそ40人が所属していますが、実施隊として活動する人数は25人で、平均年齢は65歳を超えています。

鳥獣による農作物被害や市街地での目撃情報が入った場合には、まず現場の状況を確認し、対応を考えることになります。



わなを設置する場合も、ただ設置すればよいというわけではなく、動物の動きや地形などを見ながら、どこに設置するのが適切かを判断する必要があります。

さらに、わなを設置した後も見回りが必要です。わなは仕掛けたままにしておくことができないため、毎日現場を確認することになります。

こうした活動は、実際に山や現場に入った人でなければ分からない苦労があります。

■捕獲にはどのような難しさがあるのでしょうか。

鳥獣を目撃したからといって、すぐにわなを設置して捕獲できるわけではありません。まずは、実際にどこで目撃されたのか、その後どこへ移動したのかなど、現場の状況を確認する必要があります。特に市街地では、人が生活している場所での活動となるため、安全面にも十分な配慮が必要となります。

また、捕獲は「捕まえれば終わり」というものではありません。捕獲した鳥獣をどう処理するのかという問題があります。現在、捕獲した鳥獣を埋設できる場所には限りがあります。捕獲活動を継続していくためには、捕獲後の処理まで含めた体制を整えることが必要です。

隊員からは、本市に新たな鳥獣の処理を行う施設を設けてもらえないか、という意見もあります。捕獲した鳥獣を適切に処理できる場所が身近にあれば、隊員の負担軽減にもつながり、継続的に鳥獣被害対策を行う上でも重要な施設になると考えられます。



熊捕獲用の箱わな

■課題について教えてください。

課題は、隊員の高齢化と担い手不足です。現在、平均年齢が65歳を超えています。年齢層は幅広く80代の隊員から若い世代の隊員もいます。しかし、若い人が次々に入ってくる状況ではありません。

鳥獣が出れば対応しなければならず、わなを設置すれば毎日の見回りも必要になります。そうした活動を長く続けていくためには、一定の人数を確保しておかなければなりません。特に朝の見回りは、人数が少なくなれば、一人一人の負担が大きくなります。



枝を折られたさくらんぼ

また、狩猟は、免許を取得した後に、現場での経験を重ね、技術や判断力を身につけていくことで一人前になっていきます。山の地形や動物の習性、わなの設置場所、現場での判断など、実際の活動で得られる経験や、現場で捕獲をする際のルールや秩序を学ぶことが必要です。そのため、若い人たちに関心を持ってもらい、経験のある隊員から学ぶことができる環境づくりが重要になってきます。

10年、20年先を考えたとき、同じ形で活動を続けられるのかという課題もあります。鳥獣被害対策は、捕獲そのものだけで完結するものではなく、捕獲する前の現場での判断から、捕獲後の処理までを一つの仕組みとして考えていくことが大切です。

これからも鳥獣による被害を防ぎ、地域の安全を守るため、現在活動している隊員の経験を次の世代につないでいきます。

■市民の皆さんに伝えたいことをお願いします。

鳥獣被害対策は、実施隊だけで解決できる問題ではありません。



被害を受けたりんご

鳥獣が人里に下りてこないようにするためには、地域の皆さんの協力が必要です。鳥獣にとって「人里に行けば食べ物がある」という環境をつくらないことや、住宅地周辺の環境を適切に管理することなど、地域で取り組めることもあります。

鳥獣被害というと、どうしても「捕獲する人」と「被害を受ける人」という関係で考えてしまいがちです。しかし、本当に必要なのは、その両方が同じ地域の問題として考えることではないでしょうか。現場で活動する実施隊と行政、地域が一緒になって、これからの鳥獣被害対策について考えていくことが大切と考えます。

■今回の取材を通して

普段、私たちが安心して暮らすことができるのも、こうした現場で活動されている皆さんのご尽力があってこそです。一方で、担い手の高齢化や活動を支える環境など、これから先を考えたときに、地域全体で考えていかなければならない課題も見えてきました。

市民の皆さんにも、鳥獣被害の現状だけでなく、その対応を担っている方々の思いや苦労について知っていただく機会になればと思います。

鳥獣被害を防ぎ、地域の安全を守るため日々活動されている、寒河江市鳥獣被害対策実施隊の皆さん、ありがとうございました。

問い合わせ／市農林課農業振興係
☎（85）1768

令和8年9月定例会
（9月2日～9月28日／27日間）

ここがポイント

定例会で審査した議案のうち、特に皆さんに知っておいてほしいことをピックアップします。

令和７年度決算

認第１号～認第７号、議第36号～議第37号

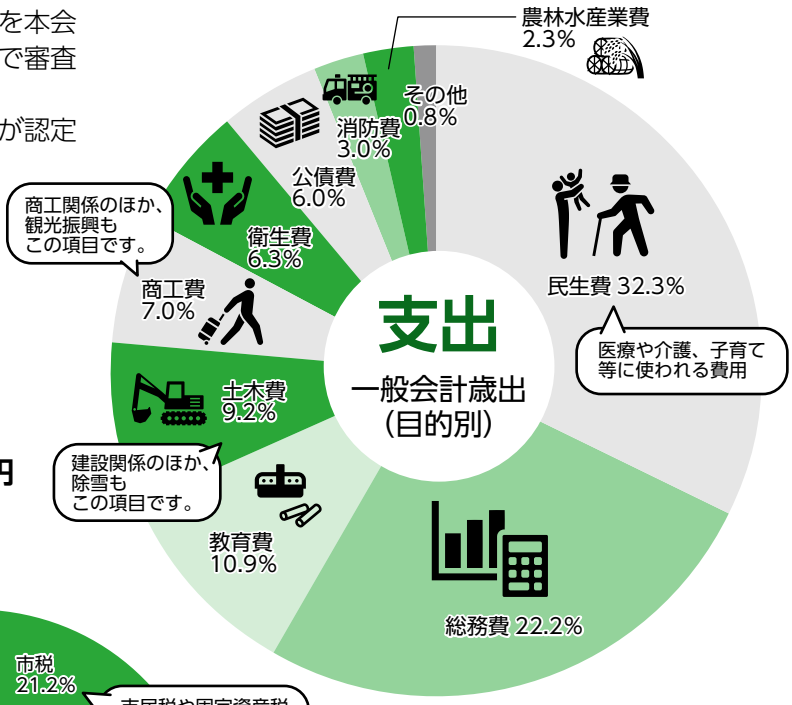
寒河江市の令和７年度決算を認定

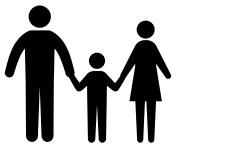
一般会計決算

一般会計や市立病院事業会計、国民健康保険特別会計など、寒河江市の令和７年度決算を本会議および決算特別委員会で審査しました。

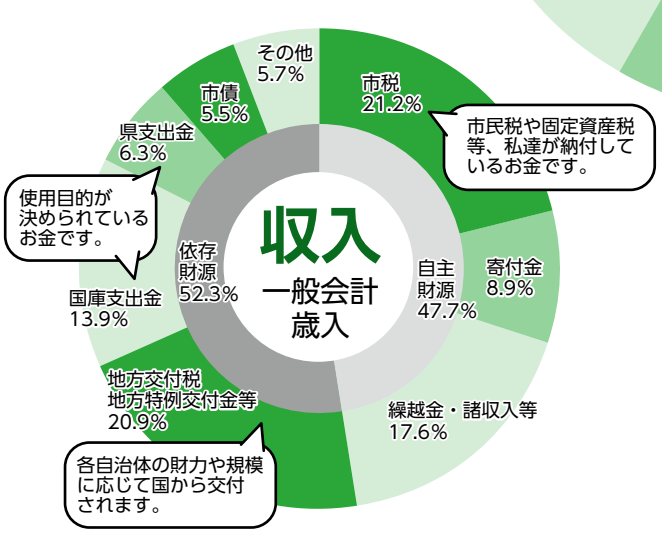
その結果、全ての決算が認定されました。

歳入　257億5971万円（0.1％減）
歳出　246億4108万円（0.1％増）
実質収支　９億1843万円





市民１人あたり
63万8420円



主な事業会計		収　入	支　出
市立病院事業会計	収益的	20億5217万円	21億1263万円
	資本的	1億8015万円	2億3578万円
水道事業会計	収益的	10億7991万円	9億9929万円
	資本的	3億9718万円	7億3089万円

主な特別会計	収　入	支　出
国民健康保険特別会計	40億6839万円	39億2195万円
介護保険特別会計	45億6764万円	45億 141万円

多種多様な働き方を求める若者を支援

歳出第２款　総務費　【まち・ひと・しごと創生事業】

【こんな質疑が行われました】

Q. 若者の創造性育成および新しいワークスタイル創出支援事業の具体的な成果は。

A. エリアイノベーション、ＡＩリテラシー、インバウンド観光などをテーマとしたワークショップを５回開催し、80名を超える参加があったことや、寒河江型の経営支援システム「NextBizBy寒河江市※１」を運用し、サービス登録者が216名であったこと、また、新しいビジネス展開のための勉強を行う「ローカルビジネス大学寒河江校※２」は、第２期生として９名が受講し各々のビジネスプランを発表しました。

※１　これからの寒河江市の経済成長を持続的に実現するデジタル×アナログの実行力の高い仕組みをつくり、地域を盛り上げ、豊かにすることを目的とした新しいコンテンツ。LINEと連携し、経営支援および創業支援を行う、経営者、役員、社員、個人事業主、創業希望者の方々を対象としたシステム。

※２　ビジネスを始めてみたいと悩んでいる方、新分野進出等新規事業に取り組みたい事業所、幅広いビジネス力を育みたい方のために動画やオンラインでコンサルティング等を行うビジネス講座。

地域福祉活動支援のための福祉バス

歳出第３款　民生費　【福祉バス運行事業】

【こんな質疑が行われました】

Q. 年間の利用状況および委託料の内訳は。

A. 令和７年度の運行実績は237件で、利用者は3,005人です。福祉バスの委託料については、運転手１名分の人件費および燃料費、軽微な修繕費等が含まれております。

市民浴場「湯るりさがえ」の今

歳出第４款　衛生費　【市民浴場管理運営事業】



【こんな質疑が行われました】

Q. 運営形態が指定管理から業務委託に変わったが、現在の状況は。

A. 指定管理期間は１日平均758人の来場がありましたが、業務委託期間に移行してからは690人となっています。今後は、周辺にある最上川ふるさと総合公園やスケートパークの利用者からも利用してもらえるよう県とも協議してまいります。

６次産業化による本市農産物の高付加価値化

歳出第６款　農林水産費　【６次産業化推進事業】



マッチング交流会の様子

【こんな質疑が行われました】

Q. 令和７年度の具体的な成果は。

A. ２月24日にさがえマッチング交流会を開催し、農業者５名、事業者６名が参加しました。その結果、取引が成約したものが１件、共同開発を検討するものが３件、継続して面談するものが９件ありました。また、これまでの取り組みにより、子姫芋のキムチや谷沢梅を使用した梅酒などをはじめ、20を超える商品が開発されています。

新病院開院延期を受けての市立病院の見通し

認第７号　令和７年度寒河江市立病院事業会計決算の認定について

【こんな質疑が行われました】

Q. 令和７年度の決算を踏まえ、県立河北病院との統合病院開院が１年延期になったことによる影響をどのように考えているのか。また、経営強化のための取り組みは。

A. 安全安心な医療を提供するため医療機器の更新を検討するものがありますが、今後新病院の整備基本計画や実施設計と整合性を図りながら効率的で最適な整備を進めてまいります。経営強化の取り組みとしては、人員確保に注力し、就業支度金貸与制度の活用促進や任期付職員の採用による医師確保、山形大学医学部との連携強化を図ってまいります。



令和８年度補正予算

新たな源泉の掘削用地確保に向けて

○ 財産管理費　新寒河江温泉管理事業　1,712万円

新たな温泉源泉の掘削候補地を選定するための調査結果を受けて、有望とされる掘削用地を取得するための経費および県への温泉掘削許可申請に要する経費を計上するもの。

【こんな質疑が行われました】

Q. 委託料として1,700万円が計上されているが、その詳細は。

A. 寒河江市土地開発公社へ、用地取得に向けた業務委託をするための委託料となっており、内訳として、土地の取得費および測量費、分筆登記等の手数料が含まれています。

不要果樹伐採で鳥獣出没を防ぐ

○ 市民生活対策費　市街地指定管理鳥獣出没対策事業　151万円

市街地での熊出没や目撃情報が増加してることを受け、現場対応する市鳥獣被害対策実施隊の日当および現場で必要となる消耗品の購入に対応するもの。また、不要果樹伐採補助の申請が多く寄せられており、今後も申請の増加が見込まれることから追加計上するもの。

【こんな質疑が行われました】

Q. 不要果樹伐採に対する増額とのことだが、申請の状況は。また、増額の詳細は。

A. 当初予算において不要果樹伐採については、１本あたり４万円を上限とし、25本分を予定しておりましたが、すでに26本分の申請が寄せられています。１本あたりの単価が４万円以下となっているため予算の範囲内で対応しているところですが、これから冬眠に向けて熊が飽食期になる前に不要果樹伐採に対する要望が増えると想定し、当初予定本数の２倍となる50本を補助対象とするべく増額するものです。



鳥獣を招く不要果樹

議第41号　寒河江市防災行政無線更新工事請負契約の締結ついて

防災行政無線更新で情報の周知を迅速に

現行の無線サービスが令和11年５月にサービス終了となることから、新システムへの移行が必要であり、併せて、スピーカーの高性能化および建柱高の見直しと情報伝達手段の多様化への対応を目的に更新するため、請負契約を締結するもの。システム更新により、市民への周知の迅速化、情報伝達の確実性の向上、ランニングコストの低減化が図られる。

【契 約 金 額】３億5,030万円
【契約の相手方】株式会社ハムシステム庄内
【完 成 予 定 日】令和10年３月10日
（令和８年度：現地調査、建柱箇所地質調査、機器調達・設定）
（令和９年度：建柱・既存機器撤去、新機器取付）

【こんな質疑が行われました】
Q. 公募型プロポーザル審査において、今回の業者を選定する上で特に評価された点は。
A. 音声の聞き取りやすさや入力した文字を音声に変換する機能、操作性のほか、現在の25ワットの外部スピーカーを50ワットにし、一部では60ワットも併用することなどが評価され選定されました。

議第42号　社会資本整備総合交付金 市道仲田内ノ袋線道路改良工事請負契約の締結について

道路改良工事による交通環境の改善

市道仲田内ノ袋線は、現在路面が波打っており車両の走行および歩行者の通行に支障をきたしている。この度246メートルの延長について歩道も含めた道路改良工事を施工するため、請負契約を締結するもの。


市道仲田内ノ袋線
（陵南中学校東側）

【契 約 金 額】１億6,280万円
【契約の相手方】楳津建設株式会社
【完 成 予 定 日】令和９年３月31日

議第44号　旧幸生小学校改修工事請負契約の締結について

旧幸生小学校を屋内型スケートパークへ

国の地域未来交付金を財源として、旧校舎を屋内型スケートパークに改修するため、請負契約を締結するもの。幸生地区の拠点施設である旧幸生小学校において、若者を中心に、スポーツとものづくりに関する多面的な利活用を促進することにより、将来、世界で活躍する人材輩出を目指すとともに、若者との交流を通して中山間集落の地域活力を創出する。

校 舎 １ 階：スケートパーク、事務室、ミーティングルーム、
男女更衣室、多目的トイレ、既存トイレの改修
校 舎 ２ 階：多目的スペースの中央壁撤去（発明クラブ用）
グラウンド：一部を駐車場に整備（プール解体含）60台分


完成イメージ

【契 約 金 額】２億867万円
【契約の相手方】布施建設株式会社
【完 成 予 定 日】令和９年３月31日

令和８年９月定例会

提出議案等と採決結果

可決・否決……一般議案、予算等
同意・不同意…人事案件等
認定・不認定…決算議案等
承認・不承認…専決処分議案等
採択・不採択…請願・陳情

令和８年９月定例会

議案番号	議案名	採決結果
議第35号	寒河江市文化センター空調設備改修工事請負契約の締結について	可決（全会一致）
認第１号	令和７年度寒河江市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
認第２号	令和７年度寒河江市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
認第３号	令和７年度寒河江市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
認第４号	令和７年度寒河江市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
認第５号	令和７年度寒河江市介護認定審査会共同設置特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
認第６号	令和７年度寒河江市財産区特別会計（高松、醍醐、三泉）歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
認第７号	令和７年度寒河江市立病院事業会計決算の認定について	認定（全会一致）
議第36号	令和７年度寒河江市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決および認定（全会一致）
議第37号	令和７年度寒河江市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決および認定（全会一致）
議第38号	令和８年度寒河江市一般会計補正予算（第４号）	可決（全会一致）
議第39号	令和８年度寒河江市介護保険特別会計補正予算（第２号）	可決（全会一致）
議第40号	寒河江市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
議第41号	寒河江市防災行政無線更新工事請負契約の締結について	可決（全会一致）
議第42号	社会資本整備総合交付金　市道仲田内ノ袋線道路改良工事請負契約の締結について	可決（全会一致）
議第43号	河北町の公の施設の設置に関する協議について	可決（全会一致）
議第44号	旧幸生小学校改修工事請負契約の締結について	可決（全会一致）

令和８年９月定例会の議案等はこちらから

陳情審査結果

件名	付託委員会	審査結果・対応
選挙における視覚障がい者への情報保障および当事者参画によるアクセシブル情報提供体制整備に関する陳情書	厚生文教	採択・陳情書の写しを市当局へ送付

陳情

選挙における視覚障がい者への情報保障および当事者参画によるアクセシブル情報提供体制整備に関する陳情書

陳情者：特定非営利活動法人 山形県視覚障害者福祉協会　会長　鈴木 勝利

【陳情概要】

下記事項について、陳情します。

・視覚障がい者に対する選挙情報保障の充実を図ること。
・投票所における合理的配慮および支援体制の充実を図ること。
・視覚障がい当事者団体等への委託やその知見を活用した体制整備を検討すること。
・視覚障がい当事者団体との継続的な協議および意見交換の場を設けること。
・情報アクセシビリティ向上に関する取り組みについて、行政ＤＸおよび地域共生社会推進の観点も踏まえた継続的な検討を行うこと。

この陳情は厚生文教常任委員会において賛成多数で採択し、市当局へ写しを送付しました。

一　般　質　問

Q.　一般質問とはなんですか？

A．議員が市長や教育長などに対し、市政全般についての事務の執行状況や施策の方針、課題などを質問することです。質問は事前に通告した内容に沿って一問一答方式で行われます。

社会・暮らし	質問者	経済	質問者
「いのちと暮らしを守るセーフティネット」拡充	渡邉	人口減少の原因について	沖津
「さがえトリエンナーレ(仮称)」などアートによる地域づくり	渡邉	企業誘致とデータセンター誘致について	佐藤(政)
「寒河江百貨店」の位置付けと今後の活用について	沖津	**観光**	**質問者**
町内会の市報配布負担軽減に向けた、既存市公式アプリの活用促進	後藤	「稼ぐ観光」への転換について	佐藤(政)
水道事業	荒木	**教育**	**質問者**
健康・福祉	**質問者**	新時代に対応する学校教育のアップデート	後藤
障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり	太田(陽)	学校教育	荒木

市…市長答弁　　教…教育長答弁

障がいのある人もない人も共に生きるまちづくりを



太田陽子議員

録画映像はこちらから

障がいのある人もない人も、地域で安心して暮らし続けられる寒河江市をつくるため、福祉サービス（相談支援や放課後等デイサービス）の充実、差別解消のため地域との交流などを政策の中心に。

問　障がい児の相談支援体制はどのようになっているか。また、障がい児が小学校に入学する際の支援やその対応は。

市　発達に不安を抱える子どもには心理師相談を経て、通所支援サービス利用のために通所受給者証を交付します。年長児には就学時面談を勧め、持つ力を最大限伸ばせる就学先を決定します。

問　放課後等デイサービスなどの誘致や、事業の拡大を計画している事業所に対しての支援などできないか。

市　本市の事業所誘致の可能性がある事業者に対しては立地条件等の意向を伺い、また、人材確保に課題がある既存の事業所に対しては国の支援拡充の情報を把握しながら、必要な支援を検討していきます。

問　「寒河江市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」に基づき、差別解消や人権擁護実現のため、どのように取り組むか。

市　相談体制の強化、小中学校におけるインクルーシブ教育の推進、交流の機会確保、差別解消に関する研修会等の開催などを通して、お互いに人として認め合い、人権を尊重し合いながら共に生きる社会の実現に取り組んでいきます。



就労Ｂ型事業所で働く障がいのある方々

渡邉賢一（わたなべけんいち）議員



録画映像はこちらから

物価高騰緊急経済対策でいのちと暮らしを守れ

9月の飲食料品値上げ件数は、今年最多。今、市民の最大の関心事は、新中学校開校延期や新病院開院延期などの市政課題より異常な物価高。最低賃金改定予定も実質賃金は追い付かない。

問2年間の消費税減収による本市財政へのマイナスの影響は。

市国や県の試算を基に、令和7年度の交付額から機械的に算出した場合、本市への影響額は、地方消費税交付金と地方交付税を合わせて、年間3．6億円程度になると見込んでいます。

問減税効果以上に飲食料品・生活必需品の値上げが止まらない問題の生活実態把握は。

市消費者物価指数等の各種統計調査結果が示すように、市民、事業者の双方が急激な物価上昇に直面している事態を深刻に受け止めています。機会を捉え国や県に追加の経済対策を要望していきます。

問そもそも購買力の低い社会的弱者は、減税効果が極めて少ない。さらなる高齢者施設や世帯への重点支援も行うべき。

市冬季の灯油購入費等助成事業や除雪費支給事業など、高齢者世帯全てを対象範囲とするのではなく、高齢の低所得世帯に絞って支援に取り組んでおり、今後も同様に取り組んでいきます。



レジ等改修コストが増え、
複数税率で混乱が危惧される

沖津一博（おきつかずひろ）議員



録画映像はこちらから

人口減少の原因と根拠、そのための政策

問本市における人口減少最大の原因は何であると考えるか。また、その根拠は。

市出生数の減少と高齢化の加速に伴う死亡数の増加による自然減、加えて進学や就職などを契機とした若年層の転出者数が転入者数を上回る社会減が要因であると国勢調査などを活用し分析しています。

問そのための施策として、具体的にどのような計画をしているか。

市第7次寒河江市振興計画に基づき、若い世代が自己実現ができて心豊かに暮らせると思えるような働く場の確保や居住環境の整備など、魅力的なまちづくりに取り組んでいきます。

寒河江百貨店の位置付けと今後の活用

問寒河江百貨店の設置目的と位置付け、市民への浸透状況と認識は。

市百の展示物を通して、市内外の人々の交流拡大により新事業を創造し、中心市街地への展開を誘導する、持続可能なまちづくりを目指すものです。催しや空間づくりを通し趣旨を浸透させていきます。

問利用促進と市民参加の具体策と持続可能な運営の考え方は。

市中高大学生、市内外の方たちと交流を広げ、若い世代を中心とした市民が主体的に参画できる機会をつくり、市と運営主体が緊密に連携し多くの方々に愛される施設に育てていきたいと考えています。



中心市街地活性化の鍵となる
寒河江百貨店



後藤健一郎（ごとうけんいちろう）議員

録画映像はこちらから

町内会の負担軽減へ市アプリ活用促進を

問高齢化や担い手不足で町内会役員の負担増。広報等の配布負担軽減へ、どう取り組んでいくのか。

市市では、デジタル媒体の活用を図るべくポータルアプリの構築を進めています。市報の発行回数については、アプリの普及状況や町会役員のご負担も踏まえ、見直しを検討していきます。

問使ってもらわなければ意味がない。スマホ操作が苦手な方やアプリに抵抗がある方への定着支援策は。

市市報や地域の集まりなどで周知するほか、家族からの支援が難しい方には公民館等で操作研修会を開催します。登録方法や基本操作を分かりやすく説明することで無理なく利用できるよう支援します。

時代の変化に合わせ学校教育をアップデート

問特に小学校低学年児童の帰宅時における熱中症対策として、ネッククーラー用冷凍庫を設置しては。

教販売されているネッククーラーは、28度以下で凍るタイプのものや、気化熱を利用して冷やすタオルなど、様々な種類があります。使用状況や学校・学年の規模を踏まえながら検討していきます。

問保護者世代とは求められる人材・業種が変わったAI時代。どんなキャリア教育を行っているのか。

教働くことの目的・意義についての学習や、家事体験、職業講話、職場体験、自分の適性や進路についての学習などのほか、課題探究学習を通して、地元企業への理解を深める学習も行っています。



アプリが普及・定着すれば、紙への依存は減らせるはず



佐藤（さとう）政人（まさと）議員

録画映像はこちらから

「稼ぐ観光」への転換と推進体制

問観光と商工等が連携する推進体制を構築し、「稼ぐ観光」を実践する決意は。

市観光による経済波及効果に着目したプロジェクトチームを組織し、また、民間事業者との協議の場を設け、検討・協議し、官民一体となった地域体制の形成を図りたいと考えています。

問さくらんぼ観光を起点に、令和9年度からの具体的な市内周遊と消費拡大の推進に対する決意は。

市フルーツ狩りと組み合わせて周遊していただけるような情報発信をするなど、「稼ぐ観光」につながる実効性のある施策を重点的に展開できるよう、必要な財源の確保と事業推進に努めていきます。

次世代産業を呼び込む企業誘致戦略

問国の政策を踏まえたAI・デジタル・GX等を重点誘致分野と設定する考えは。

市現在の重点誘致分野としては、自動車関連、半導体、AI、デジタル、医薬品です。今後、国の成長戦略を踏まえ、ロボットやドローン、自動運転等を重点誘致分野に加えていきたいと考えています。

問令和8年度中に企業誘致戦略を見直し、データセンターを含む次世代産業の誘致に着手する考えは。

市本市の立地環境を最大限に活かせる次世代産業として考えているロボットやドローン、自動運転等の分野での産業集積を図るため、勉強会の開催や、核となる企業の誘致作業に着手していきます。



寒河江公園からの月山の眺め



荒木（あらき）春吉（はるきち）議員

録画映像は
こちらから

水道事業

問県内自治体における水道管の耐震化状況の新聞報道があった。本市の耐震化率と今後の対策は。

市本市水道管の総延長の内45.9％が耐震性のある耐震適合管となっています。市上下水道耐震化計画に基づき、配水池や避難所等の重要な施設に接続する水道管の耐震化を重点的に進めてまいります。

問現在、村山広域水道では料金改定の検討をしている。本市の料金改定の経過、経営状況、将来像は。

市平成30年に引き下げ改定を実施し県内13市比較で、低い方から4番目です。経営状況は年々厳しくなり、今後の水需要や耐震化工事等の見通しを整理し、改定の必要性について検討していきます。

学校教育

問7月22日に陵南中学校で学区議員と語る会があった。全国学力・学習状況調査後の学力向上策は。

教全ての学習の基盤となる読解力の育成、授業内容と直接結び付く予習的課題や授業を振り返り学習の定着を図る復習的課題などの質の高い家庭学習の実践に、特に力を入れて取り組んでいます。

問学校教職員の働き方改革策は。

教部活動改革のほか、1人1台端末、アプリ等のデジタル技術を活用した会議や各種お知らせのペーパーレス化、アンケートのデジタル化、学校への各種支援員等の配置などの取り組みを行っています。



只今水道管
耐震化工事中

議会日誌

寒河江市議会は様々な分野について日々調査・研究を行っております。
今回は各委員会での視察の状況などについてお伝えします。

議員報酬改定検討に関する報告書を市長へ提出

議会改革・活性化検討委員会では、議員のなり手不足解消および議会機能の維持・向上に向け、これまで実施してきた市民、企業・団体へのアンケートおよび意見交換会の結果を整理し、議員報酬改定の方向性について議長へ報告しました。

6月17日開催の全員協議会にて「議員報酬改定検討に関する報告書」を全議員で確認、賛成多数により議員報酬の改定について市長へ申し入れることを決定。同月25日、当該報告を議長から市長へ申し入れました。



柏倉議長から齋藤市長へ
議員報酬改定について申し入れ

行政視察
厚生文教常任委員会



十日町市では廃校を
アートによる地域づくり拠点に

7月15日 新潟県魚沼市　学校再編に係るスクールバス運営
7月16日 新潟県十日町市　廃校の利活用
7月17日 新潟県長岡市　子育てと防災の複合拠点施設
（子育ての駅ぐんぐん）

当委員会では、２年間にわたり学校再編に係る様々な問題について先進地域のモデルを参考に調査・研究をしてまいりました。

今回は新潟県の山間部に行きましたが、どこの地でも空き家と学校の統合再編を問題視していました。十日町市では、アートによる地域づくりとして、集落の中心であった学校を活用し、３年に一度大々的に芸術祭を行っています。地域住民が芸術家や地域おこし協力隊とともに作品を制作し、廃校が「地域の誇り」として再認識され活気づいていました。先進的な取り組みは大変参考になりました。

行政視察
総務産業常任委員会



道の駅とみうら枇杷倶楽部を
現地で視察

7月28日 千葉県君津市　君津市商工･観光アクションプラン
7月29日 千葉県南房総市　道の駅を拠点とした観光振興
千葉県鋸南町　都市交流施設･道の駅 保田小学校
7月30日 千葉県市原市　リノベーションまちづくり

南房総市は、市内に８つの道の駅を有しており、地域の特徴を活かしながら、単なる休憩施設･物販ではなく、農林水産業の振興、観光誘客、商品開発、地域雇用、情報発信、防災・生活支援を結び付ける総合的な地域経営の拠点として運営しています。また、小さな観光資源を広域的に束ねてパッケージ化し、一括受発注システムによる観光客誘致を行っていました。

当委員会では、この先進的な取り組みを参考に、道の駅寒河江チェリーランドを核とした観光振興施策の検討をすすめてまいります。

行政視察
議会運営委員会



久喜市にて説明を受ける議員

10月14日 埼玉県久喜市　久喜市議会ハラスメント防止条例
10月15日 埼玉県所沢市　政策討論会の取組について
議会評価について

久喜市は、令和７年12月23日に久喜市議会ハラスメント防止条例を制定し、ハラスメントの根絶と未然防止に取り組んでいます。条例制定までの経過や現在の運用状況を伺い、市民のみならず社会からの信用および信頼を失うハラスメントに対して、根絶の必要性と未然防止の重要性を再確認しました。先進地の事例を参考に、現状の把握や条例制定を前向きに検討する必要があると考えます。

今後も当委員会では、議会の円滑な運営に加え、市民に開かれた信頼される議会の実現を目指し、取り組みを推進してまいります。

より近くに
時代に合わせた発信

寒河江市議会では、ＳＮＳによる情報発信を行っております。
いいね！やフォロー、よろしくお願いします。

@sagae.gikai　@sagae_gikai　@sagae_gikai

市議会ホームページを
見てみませんか

寒河江市議会では「開かれた議会」を実現するため、ホームページで議案書等の公開や本会議等のインターネット中継を行っています。市議会の活動や市政の状況を知ることができますので、ぜひご活用ください。

ご不明な点については、議会事務局へお問い合わせください。

○議会事務局
０２３７－８５－１８９９

寒河江市議会
ホームページ

さがえ市議会だより「Letter」に
関する視察の受け入れ



さがえ市議会だより「Letter」について、10月２日に茨城県下妻市議会の広報広聴委員会、27日に福島県須賀川市議会の議会広報常任委員会の皆さんが視察のため来寒され、当市議会広報委員会の正副委員長が取り組みについて説明しました。

引き続き、手に取ってもらえ情報が伝わる議会だよりの編集に努めてまいります。

議会だより「Letter」へのご意見、ご感想をお待ちしております。

アンケートはこちらから！

12月定例会の日程（予定）

日	月	火	水	木	金	土
11/22	23	24 招集告示	25	26 請願・陳情締切日	27 議会運営委員会	28
29	30	12/1	2 本会議（議案説明）	3 議案調査日	4 議案調査日	5
6	7 本会議（一般質問）	8 議案調査日	9 議案調査日	10 本会議（一般質問）	11 本会議(質疑)、予算特別委員会、委員会・分科会	12
13	14 委員会・分科会	15 事務処理日	16 事務処理日、議会運営委員会	17 予算特別委員会、本会議（採決）	18	19

傍聴を希望される皆様へ
開会時間はいずれも午前９時30分です。日程が変更になる場合や傍聴をご遠慮いただく場合があります。

請願・陳情の締め切り
12月定例会の請願・陳情は**「11月26日（木）正午まで」**に議会事務局へご持参ください。

編　集　後　記

議会広報委員会　古沢 清志

今年の夏は、全国的に様々な災害が発生し、自然の恐ろしさを実感しているところです。７月には震度７の揺れを観測した熊本地震、８月には千葉県内において線状降水帯による豪雨で多くの方が被害に遭われました。その後も次々と国内各地が災害に遭い、また海外に目を向けると、ネパール・中国の国境地帯で大規模な土石流により多くの家屋が押し流され、人的被害も出ています。今後ますます地球温暖化が進み、被害も大きくなっていくと予想されます。

自然災害はいつ発生するか分かりません。起きても負けない避難の道を探って対処していく以外に方法はないかと思います。本市においても大きな災害に備え、万全の体制を取っておくべきと考えます。

■発行　寒河江市議会　■編集　寒河江市議会広報委員会
■印刷　寒河江印刷株式会社　この市議会だよりの用紙は再生紙を使用しています。